

平成 27 年 8 月 吉日

**上下水道事業関係者 各位**  
**水コン協会員 各位**

(一社) 全国上下水道コンサルタント協会 関西支部  
支部長 北 秀 文

平成 27 年度 関水コン技術講座(ご案内)

『雨水対策の新たな展開について』～ゲリラ豪雨対策への挑戦～

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より本協会の活動に対してご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

この度、標記技術講座を開催することとなりましたので、別添資料の通りご案内申し上げます。

さて、「水防法等の一部改正する法律案」の成立、国土強靱化の流れを受け、雨水対策は新たなステージに対応すべき防災・減災対策の在り方を検討するに至っております。これまで、雨水整備は概ね 5 年～10 年の確率降雨を対象として進められており、これに対し、最近では計画降雨量をはるかに越える降雨による災害が各地で頻繁に発生するようになってきております。

このような中、雨水対策は、整備水準を高めていく必要性はあるものの、財政的な制約が高まるなか、一律に整備水準を高くすることは現実的でないと考えられております。また、財政面を含め様々な理由から、住民からの雨水対策への要望は届かず、雨水事業の断念へと繋がることもあり、思い切った支援が出来ないのが実情であると考えられます。しかし、気候変動を念頭に入れたこれからの雨水対策は、防災上必要が迫られており、より効率的な整備手法が望まれております。

技術講座では、これらの状況を踏まえ、講師の皆さんから、新たな視点に立った雨水対策と国土強靱化に向けた流れを解説、また、具体的な取組みなど中長期戦略などを紹介することで、今後のコンサル業務に繋がればと考えております。

なお、ご参加いただいた皆さまには、当協会の CPD プログラム認定書を発行いたします。

敬具